



年頭に寄せて

3学期がはじまりました。始業式での生徒の立ち姿、服装、態度は凛としており冬休みを十分に過ごしてきたことがわかりました。立派でした。

生徒アンケート i-check 結果が出てきました。100ポイントが満点です。

肯定的なポイントのうち特に高い項目は次のようでした。

学校の先生の授業はわかりやすいですか	90ポイント
電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすいですか。	91ポイント
自分の住む地域や社会をよくしたいと思いますか。	94ポイント
先生はクラスみんなのことを、ほめたり、励ましたりしてくれますか。	95ポイント

各学級で1名あるいは2名の生徒がそうは思っていないことを表してもいます。目指すは100ポイントであり、高いからと言って甘んじてはいけないと分析をしました。また、地域と共にあゆむ本校でありたいとも感じたところです。

3学期は日本の場合、冬であり、受験期と重なります。保護者のみなさまにおかれましては、入試日程・願書出願・手続きまで含めて確認作業が続きます。豊島区内の8校長は、毎月1回集まり本区の生徒がよりよい進路に向かうことができるように情報の共有をしています。進路は、キャリア形成の一つを占めるため、最新情報を取り入れ各中学校へ還元してきました。本校をはじめ、各中学校の準備は万全です。上級学校への進路後のキャリア、いわゆる就職を見越しながら、中学校として何を培うべきなのかを考えてきました。

本校の場合、学力都平均以上、体力全国同値のため、その先をどのように培うかが求められています。それは、社会人基礎力とも言われるコミュニケーション能力です。毎日の学校生活において、教員と生徒、生徒どうしといくつもの場面がコミュニケーションを培う場となっています。ご家庭での会話も、家庭教育という教育の一環を担っています。家庭教育があるからこそ、学校教育が成り立つとも言えます。

さて本年は午年です。「人には添うてみよ 馬には乗ってみよ」という故事があります。馬に乗ってみて初めてその馬の性質がわかるように、人に添うることによりその人がわかる、表面だけを見て判断してはいけないという教えです。

あらゆる情報を取り込んで、表面だけを見ずに内部を見ながら分析を行い、教育活動に邁進していきたいと年頭の決意を新たにしたところです。

どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

明けまして、おめでとうございます。
 教職員一同、お子さまの成長を温かく見守って指導をして
 いきます。
 本年もどうぞ、本校の教育活動にご理解・ご協力をお願い
 いたします。

【道徳授業地区公開講座】

1月9日（金）に道徳授業地区公開講座が行われました。

5時間目に道徳の授業を実施し、1年生は公平に接するとは「私の『ふつう』
 と、あなたの『ふつう』」、2年生では家族愛・家庭生活の充実「異なる記念日」、
 3年生はよりよく生きる心情を育む「足袋の季節」、6組では生命の尊重を育む
 「捨てられた悲しみ」について授業を行いました。6時間目は、講師として東京
 音楽大学 教職課程課 森岡 耕平 先生をお招きして、「自己を見つめ、生き方を深く考える道徳科の授業」
 についてご講演をいただきました。



講演会で、森岡先生から「心とは、どこにありますか?」「見えますか?」「心の
 働きとは・・・」など問いかけられ、「心が動くときは、感動的な出来事の体験を
 したとき」である。すなわち、道徳の授業では「人生にそうそうない感動的な体
 験を疑似的に体験する」⇒「その生き方を支える考え方や
 気持ち、込められた思いを探る」⇒「自らを見つめ、より

広く、より深く生き方を考える」ことであるとお話されていました。また、「道
 徳科の授業づくり」や「道徳的諸価値」、「主体的・対話的で深い学び」について
 お話ししてくださいました。とてもわかりやすく先生方にとっても、保護者にとっ
 ても大変勉強になる講演会でした。



保護者の皆さまにつきましてはお忙しい中、授業参観と講演会に出席いただきありがとうございました。

【校内書き初め展】

1月8日（木）から31日（金）の期間、校内書き初め展を実施しています。休みの課題で書かれた書
 初めを各学年のアクティブ・スペースに展示してあります。



1年生



2年生



3年生

